

第1回運営委員会（書面会議）

日 時 2020年8月

議題

1. 事業計画の変更についての承認

- ・第1回運営委員会会議は8月中に書面にて意見をとりまとめ、9月末に議事録を作成送付、総会については11月に委員長、事務局長、会計のみが出席し、他の会員には委任状の提出を求め、開催を成立させる。

2. 決算の承認 <花原氏>

3. 予算案の承認 <花原氏>

- ・閉会展費用には会場費とオープニングパーティー、DM印刷費が含まれる。(JARFOについては会場費は含まず、オープニングパーティーとDM代のみ)
- ・その他の予備費が残金。閉会展が無ければ残金は1,195,000円となる。

4. 閉会展の開催について

- ・他府県を越えた活動が難しい状況で、従来のような閉会展及び、閉会パーティーの開催は困難ではないか。
- ・ギャラリーヒルゲートは今年、開催できなかった作家が、来年に予定している様で、キャンセルになっても穴の空く心配はないと、オーナーの人見氏は言われるが、せつかく歴史を作ってきた会が、何

も無くていつの間にか消えてしまうのは寂しい。参加できる人だけで出品してもらって、ぜひ開催してもらいたい。会の沿革のようなものを簡単なパンフレットでいいから作ってはどうかとも言われた。

5. 閉会時期について

- ・新型コロナウイルスの終息が見えない中、根拠なく閉会時期を先延ばしにするのも難しいのでは。
- ・閉会展は開催して、パーティーをしない場合は 60 万円ほど、閉会展もパーティーも行わない場合は 100 万円ほどが残る。閉会時に残金を残さない為にはどうしたら良いか。どこかに寄付という事も考えられる。その場合の寄付先はどこが良いか。

6. その他

第1回運営委員会 書面会議返信フォーム

議題1. 事業計画の変更について

- ・承認する
- ・承認しない

議題2. 決算の承認

- ・承認する
- ・承認しない

議題3. 予算案の承認

- ・承認する
- ・承認しない

議題4. 閉会展の開催及びクロージングパーティーについて

- ・開催する <開催する場合、どの様な形で開催されるのが良いかお聞かせください。>

- ・開催しない

議題5. 閉会時期と残金の活用方法について

議題6. その他ご意見があればお願いします。

2020 年度 第 1 回 運営委員書面会議 議事録

日 時 : 2020 年 8 月 31 日 (月)

出席者 : 朝日、伊藤、片岡、川端、汾陽、近藤、齋藤、坂爪、清水、鈴木、ちあき、
野嶋、花原、ふじい、三田村、武蔵、目良、(あいうえお順)

議 題

1. 事業計画の変更について

・承認する 17 名 ・承認しない 0 人

2. 決算の承認について

・承認する 17 名 ・承認しない 0 人

3. 予算案の承認について

・承認する 17 名 ・承認しない 0 人

4. 閉会展について

・閉会展を開催する。 7 名
・閉会展はヒルゲートのみで開催する 1 名
・閉会展は開催しない 8 名
・どちらでも良い 1 名

5. クロージングパーティーについて

・開催しない 12 名
・その時の状況で判断する 3 名
・無回答 2 名

6. 閉会時期について

・予定通り 2021 年 3 月末 10 名
・1~2 年 延長する。(コロナが終息するまで) 2 名
・無回答 5 名

7. 残金の活用について

- ・残金は会員全体で、食事会をする。 (片岡氏)
- ・委員会会議で決める。 (齋藤氏)
- ・残金は医療機関に全額寄付する。 (武蔵氏)
- ・残金については、助成金として分配する。例えば京都版画会員が所属する団体に声をかけ、「版画の普及、若手版画家の育成」等の趣旨を踏まえ、展覧会等の活動を実際に行っている。規約があるなどの条件をクリアすればお渡しするのではどうか。3月閉会なので、1月までに提出された申請書類を審査、承認し、助成金としてお支払いする。
(近藤氏)
- ・例えば九州などで、閉会展開催の要望があれば援助する。さらに残ればJARFOに寄付する。 (清水氏)
- ・会の歴史、20年の活動を振り返れるような冊子を作り、お世話になった画廊等に配布。 (伊藤氏、花原氏、目良氏)
- ・残金は芸術・美術関係の団体へ寄付する。芸術文化振興会とか、CWAJ等または、黒崎先生に因む寄付が出来たらいい。 (鈴木氏)
- ・残金は京都版画にゆかりのある画廊や、過去に協賛金を多く頂いた所等に寄付する。 (花原氏)
- ・版画協会に寄付、あるいは会員に等分に返金する。 (ちあき氏)
- ・残金の100万円は一先ず、全会員に平等に返金する。閉会展を開催される事になったら経費を負担し、参加者と不参加者の間に遺恨を残さず閉会できるようにする。 (ふじい氏)
- ・版画協会に寄付、或いはユニセフ、東日本大震災、熊本地震復興事業へ寄付する。 (汾陽氏)
- ・残金は運営委員会の後処理の運営費と、閉会展で消化です。(野嶋氏)
- ・もし閉会展を開催するとなった時には、搬入、展示、搬出、返却作業を業者に委託し、それでも残金があれば、企画で計画してもらっている画廊に、正規の料金をお支払いすることで、画廊に還元する。(三田村)

8. その他ご意見があればお願いします。

- ・京都版画の沿革のようなものは、今まで黒崎先生が折に触れ話し、書かれてきた。さらにこれ以上の印刷物を作る事は、現在大量の印刷物を預かっている者としては、避けていただきたい。 (三田村)

- ・閉会にむけて、対外的な処理としてw e b s i t eでも進めていくことが必要かと思います。例えば、閉会の日程が確定次第、W e b s i t e上で対外的に閉会の情報を発信してはどうでしょうか？閉会をしても、しばらくの間、W e b s i t eは継続して、対外的に閉会をお知らせする必要があります。閉会の半年ほど前から「〇〇をもって閉会する、（閉会展をいつ開催する）」と掲示し、閉会後は「〇〇をもって閉会しました。（閉会展をいつ開催する）」→閉会展の一か月前くらいに閉会展情報を掲出→閉会展終了後、w e b s i t eの閉鎖。
w e b s i t eのs h o p（カタログ、京都十景）ページは削除し、販売終了の案内もしたほうがよいかと思われます。（野嶋氏）

（文責：三田村）